

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2002-16673
(P2002-16673A)

(43) 公開日 平成14年1月18日 (2002.1.18)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード* (参考)
H 0 4 M	1/00	H 0 4 M 1/00	L 5 K 0 2 7
H 0 4 Q	7/38	1/57	5 K 0 3 6
H 0 4 M	1/57	1/725	5 K 0 6 7
	1/725	H 0 4 B 7/26	1 0 9 T
			1 0 9 L
審査請求 未請求 請求項の数 7 O L (全 6 頁)			

(21) 出願番号 特願2000-193862 (P2000-193862)

(22) 出願日 平成12年6月28日 (2000.6.28)

(71) 出願人 000003078

株式会社東芝

東京都港区芝浦一丁目1番1号

(72) 発明者 野口 恵古

東京都目黒市旭が丘3丁目1番地の1 株

式会社東芝目黒工場内

(74) 代理人 100083161

弁理士 外川 英明

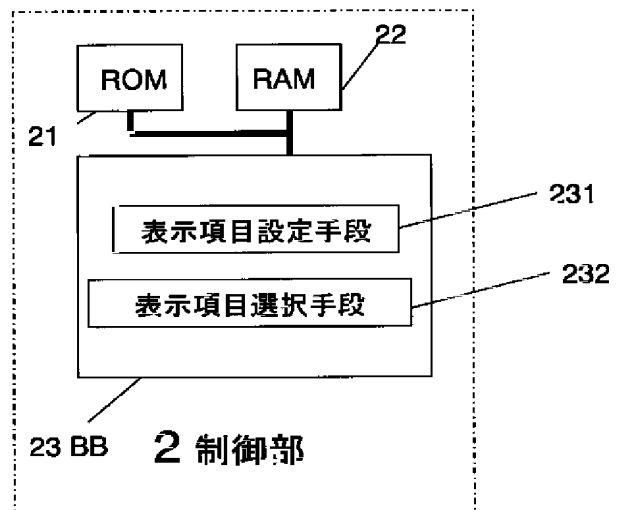
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 移動無線端末

(57) 【要約】

【課題】 着信通知やリダイヤルや着信履歴で表示する項目を任意に設定できる移動無線端末を提供する。

【解決手段】 表示項目設定手段231が着信通知の際に発信者の電話番号に対応し、表示したい項目を予め設定しておく。そして、着信通知の際には、表示項目選択手段232が設定された項目をそれぞれの電話番号に対して選択して表示する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 電話番号や名前などの複数種類の個人情報に関連づけて記憶手段に記憶する移動無線端末において、通信に係る動作を実行する際に表示する個人情報を予め設定する設定手段と、

通信に係る動作を実行時に前記設定手段が設定した個人情報を前記記憶手段から選択して表示する制御手段とを具備することを特徴とする移動無線端末。

【請求項2】 通信に係る動作は、相手からの着信呼び出しであることを特徴とする請求項1記載の移動無線端末。

【請求項3】 通信に係る動作は、リダイヤル検索であることを特徴とする請求項1記載の移動無線端末。

【請求項4】 通信に係る動作は、着信履歴検索であることを特徴とする請求項1記載の移動無線端末。

【請求項5】 設定手段は、相手の電話番号に基づいて表示する個人情報を設定することを特徴とする請求項1記載の移動無線端末。

【請求項6】 設定手段は、相手の通信方法の種別に基づいて表示する個人情報を設定することを特徴とする請求項1記載の移動無線端末。

【請求項7】 設定手段は、通信に係る動作を実行する時間帯に基づいて表示する個人情報を設定することを特徴とする請求項1記載の移動無線端末。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、着信通知やリダイヤルや着信履歴の際に相手の識別情報を関連づけて記憶しておく個人情報の項目を表示できる移動無線端末に係る。

【0002】

【従来の技術】従来の携帯電話無線機、PHS (PERSONAL HANDYPHONE SYSTEM) などに代表される移動無線端末は、着信をうけた際に報知する着信報知の際や、過去に自分が発信した履歴であるリダイヤルを行う際や、着信をうけた際に記憶する発信者番号の履歴である着信履歴を表示する際の表示項目として、電話番号を表示したり、個人情報をすべて表示するものがある。さらに、予め設定したパスワードなどを入力することで個人情報を見ることができシークレットモードを具備する移動無線端末がある。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかし、上述した従来の移動無線端末では、着信通知やリダイヤルや着信履歴で表示する項目、たとえば、名前、電話番号、顔写真などは、各移動無線端末によって固定されており、相手や状況などによって、表示する項目を変更することなどができず、たとえば、着信通知時において、他人が移動無線端末の表示を見ることが可能となき、他人に勝手に着

信通知を見られることもあり、または、TPOにふさわしい着信通知が行えない、という欠点が生じていた。

【0004】そこで本発明は上述の問題点を考慮し着信通知やリダイヤルや着信履歴で表示する項目を任意に設定できる移動無線端末を提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために本発明の請求項1では、電話番号や名前などの複数種類の個人情報に関連づけて記憶手段に記憶する移動無線端末において、通信に係る動作を実行する際に表示する個人情報を予め設定する設定手段と、通信に係る動作を実行時に前記設定手段が設定した個人情報を前記記憶手段から選択して表示する制御手段とを具備することを特徴としている。

【0006】上記目的を達成するために本発明の請求項2では、請求項1記載移動無線端末において、通信に係る動作は、相手からの着信呼び出しであることを特徴としている。

【0007】上記目的を達成するために本発明の請求項3では、請求項1記載移動無線端末において、通信に係る動作は、リダイヤル検索あることを特徴としている。

【0008】上記目的を達成するために本発明の請求項4では、請求項1記載移動無線端末において、通信に係る動作は、着信履歴検索であることを特徴としている。

【0009】上記目的を達成するために本発明の請求項5では、請求項1記載移動無線端末において、設定手段は、相手の電話番号に基づいて表示する個人情報を設定することを特徴としている。

【0010】上記目的を達成するために本発明の請求項6では、請求項1記載移動無線端末において、設定手段は、相手の通信方法の種別に基づいて表示する個人情報を設定することを特徴としている。

【0011】上記目的を達成するために本発明の請求項7では、請求項1記載移動無線端末において、設定手段は、通信に係る動作を実行する時間帯に基づいて表示する個人情報を設定することを特徴としている。

【0012】

【発明の実施の形態】以下、本発明の第1実施形態について、移動無線端末を例に挙げて説明する。図1に、移動無線端末の一般的な構成図を示す。

【0013】無線部1は、アンテナ (ANT) 11、デュプレクサ (DPX) 12、送信部 (TX) 13、受信部 (RX) 14、シンセサイザ (SYN) 15から構成されている。移動無線端末は、この無線部1を介して無線信号の送受信を行う。

【0014】制御部2は、ROM21、RAM22、ベースバンド部 (BB) 23から構成されている。ROM21は、端末の動作を制御する各種プログラムが記憶されている。BB23は移動無線端末全体の制御を司る制御部である。

【0015】入出力部3は、カメラ(CAM)31、表示駆動部(DRV)32、表示部(LCD)33、マイク(MIC)34、スピーカ(SPEAKER)35、キー入力部(KEY)36、バイブレータ(VIB)37、サウンダ(SOUNDER)38、から構成されている。ユーザーがKEY36から入力した各種データをLCD33が表示し、ユーザーがMIC34から入力した音声や、無線部1を介して受信した相手の音声をSPEAKER35から出力したり、相手からの着信を報知するための着信報知をSOUNDER38やVIB37で行ったり、ユーザーが、CAM31から映像を入力したりする。尚、図1においては移動無線端末が一般的に具備する構成を示したが、カメラ(CAM)31、バイブレータ(VIB)37は構成要件としない移動無線端末であっても良い。

【0016】電源部4は、電源(P、S)41、充電回路(CHG)42、電池(BAT)43から構成されている。電源部4は、移動無線端末への電源供給を行っている。

【0017】次に、本実施形態の移動無線端末におけるBB23の構成について説明する。

【0018】BB23は、図2に示すように着信通知の際に発信者から通知される電話番号(発信者番号)に対応し、表示したい項目を予め設定しておく表示項目設定手段231と、着信通知の際に相手の電話番号に応じて表示項目を選択する表示項目選択手段232を具備している。

【0019】つまり、本実施の形態の移動無線端末は、表示項目設定手段231が着信通知の際に発信者の電話番号に対応し、表示したい項目を予め設定しておく。そして、着信通知の際には、表示項目選択手段232が設定された項目をそれぞれの電話番号に対して選択して表示することになる。

(第1の実施形態)次に、図3を用いて本発明の実施の形態の具体的な動作について説明する。図2は移動無線端末がRAM22に記憶する電話帳の内容を示したものである。図2に示す電話帳では、Aさんは、顔写真は記憶されていないが2つの電話番号が記憶されている。たとえば、「09011111111」からの着信時には名前と電話番号を表示し、「03111111111」からの着信時には名前だけを表示するという指定をしている。Bさんは、顔写真と1つの電話番号が記憶されており、「09022222222」からの着信時にはBさんの顔写真を表示するように設定されている。Cさんは、顔写真は記憶されておらず、1つの電話番号が記憶されており、「09033333333」からの着信時には電話番号のみの表示を指定している。Dさんは、顔写真と、1つの電話番号が記憶されており、「09044444444」からの着信時には、Dさんの名前と電話番号と顔写真の表示をしている。このように、それぞ

れの電話帳に記憶される相手の電話番号に応じて着信時に、表示する好悪区を電話帳データに設定する。

【0020】図4は、図3で指定された着信時に相手の電話番号に対応した表示項目をLCD33に表示する例を示している。

【0021】「09011111111」からの着信時には、図4(a)に示すように名前と電話番号を表示し、「03111111111」からの着信時には、図4(b)のように名前を表示する。また、「09022222222」からの着信時には、図4(c)に示すように、顔写真を表示する。また、「09033333333」からの着信時には、電話番号のみを表示する。このように着信時に相手の電話番号に対応して表示する項目を変えることができる。

【0022】また、電話番号から特定した発信者、つまり、相手に対応して、表示項目を設定することも可能である。この場合は、電話番号ではなく、相手毎、つまり、図3に示す電話帳の項目でいうと、相手の名前毎に表示する項目を変えることになる。

【0023】さらに、電話番号から特定した発信者、つまり、相手の属するグループに対応して表示項目を設定することも可能である。このグループは予め電話帳で設定されている。

【0024】以上の実施形態では、着信通知に関して説明したが、リダイヤルや着信履歴についても同様である。

(第2の実施形態)次に、本発明の第2の実施形態を図5を用いて説明する。

【0025】この第2の実施の形態では、着信通知の際に、通信方法に応じて表示したい項目を設定しておく。

【0026】たとえば、音声電話着信時の時は、図5(a)に示したように、名前と電話番号をLCD33に表示、メール着信の際は、図5(b)で示したように、名前とメールアドレスをLCD33に表示、TV電話着信の際は、図5(c)で示すように、顔写真をLCD33に表示する。

【0027】つまり、音声通信、メッセージ(メール)通信、TV電話通信といった通信方法により表示する項目を設定することも可能である。

【0028】以上の実施形態では、着信通知に関して説明したが、リダイヤルや着信履歴についても同様である。

(第3の実施形態)本発明の第3の実施形態を図6を用いて説明する。

【0029】本実施の形態では、位置情報に応じて着信通知時に表示する項目を設定しておく。たとえば、図5に示すように、通信モードの種別などから判断して自宅にいと判断したときは、電話番号と名前を表示し、基地局IDの種別(事前に設定要)などから会社にいると判断したときには、電話番号のみを表示、それ以外にい

るときは、顔写真と名前と電話番号を表示する、というように、自端末の位置情報により着信通知時に表示する項目を予め設定できる。

【0030】また、位置情報としては、端末が具備するGPS機能や基地局IDによる位置情報など、何らかの手段により位置情報を取得し、予め特定している範囲であれば着信があったときに予め設定しておいたように着信報知を行う。

【0031】以上の実施形態では、着信通知に関して説明したが、リダイヤルや着信履歴についても同様である。

(第4の実施形態) 本発明の第4の実施形態を図7を用いて説明する。

【0032】本実施の形態では、予め日時により表示する項目を設定しておく。たとえば、図7(a)に示すように、21:00から9:00までは、名前と電話番号をLCD33に表示し、図7(b)に示すように、9:00から21:00までは電話番号のみをLCD33に表示、といったように自端末の設定時刻により表示する項目を予め設定しておく。このようにして図7に示すように着信時刻により予め設定していたおりに表示する項目を変更することができる。

(第5の実施形態) 次に、図8、図9を用いて第5の実施の形態について説明する。本実施の形態では、デフォルトで表示する項目を事前に設定しておく。つまり、着信通知時の表示項目指定がない場合、TV電話通信であれば顔写真、音声通信であれば名前、メッセージ(メール)通信であればメールアドレスといった具合にデフォルトで表示する項目を設定しておく。ただし、このデフォルト以外に、電話番号、通信方法、日時により表示する項目が設定されている場合は、この設定がデフォルト設定よりも優先する。たとえば、図8に示すように、AさんからTV電話着信があったときには名前と電話番号を音声電話またはメール着信があったときには名前を表示する。Bさんから土日に着信があったときには電話番号またはメールアドレスのみを表示、平日での着信は顔写真を表示する。Cさんからの着信には常に電話番号で表示することになる。Dさんからの着信時はデフォルトの設定に従って、音声通信であれば名前、メッセージ(メール)通信であればメールアドレスが表示されることになる。

【0033】上述の動作を、図9のフローチャートに示す。

【0034】移動無線端末が着信をうけると(ステップ901)、表示する項目を指定しているか否かをチェックし(ステップ903)、指定があれば指定された項目

で表示項目を表示し(ステップ904)、指定がなければデフォルトの表示項目を表示する(ステップ905)。

【0035】以上説明した本発明の実施の形態においては、電話番号、通信方法、位置情報などにより着信通知の表示項目を変えることの設定を電話帳に記憶するものとして説明したがこれに限定されるものではない。

【0036】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば相手の電話番号、相手の通信方法(音声通信、TV電話通信、メッセージ(メール)通信)などにより着信通知、リダイヤル、着信履歴の表示項目を変えることができ、TPOにふさわしい着信通知が行えるという効果が得られる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 図1は、本実施例における移動無線端末の構成を示す図である。

【図2】 図2は、BB23の構成を示す図である。

【図3】 図3は、RAM22内の電話帳の内容を示す図である。

【図4】 図4は、LCD33の表示例を示す図である。

【図5】 図5は、LCD33の表示例を示す図である。

【図6】 図6は、位置情報により表示項目が変わる場合に例を示す図である。

【図7】 図7は、LCD33の表示例を示す図である。

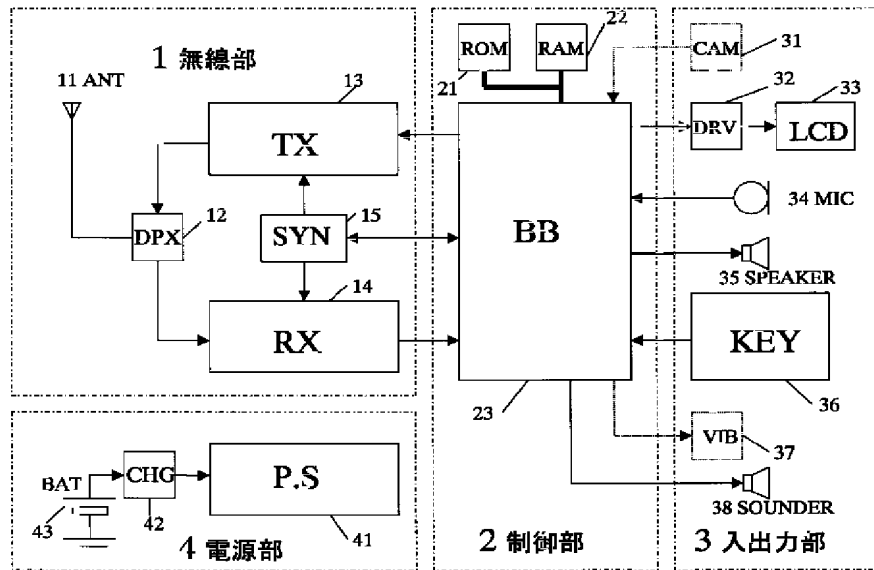
【図8】 図3は、RAM22内の電話帳の内容を示す図である。

【図9】 図9は、着信通知のシーケンスを示す図である。

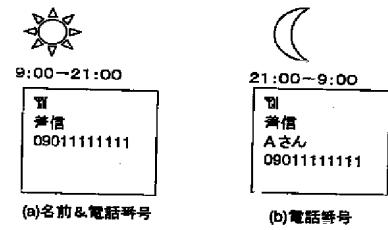
【符号の説明】

1・・・無線部1、11・・・アンテナ(ANT)、12・・・デュプレクサ(DPX)、13・・・送信部(TX)、14・・・受信部(RX)、15・・・シンセサイザ(SYN)、2・・・制御部、21・・・ROM、22・・・RAM、23・・・ベースバンド部(BB)、3・・・入出力部、31・・・カメラ(CAM)、32・・・表示駆動部(DRV)、32・・・表示部(LCD)、34・・・マイク(MIC)、35・・・スピーカ(SPEAKER)、36・・・キー入力部(KEY)、37・・・バイブレータ(VIB)、38・・・サウンダ(SOUNDER)、4・・・電源部、41・・・電源(P.S)、42・・・充電回路(CHG)、43・・・電池(BAT)

【図1】

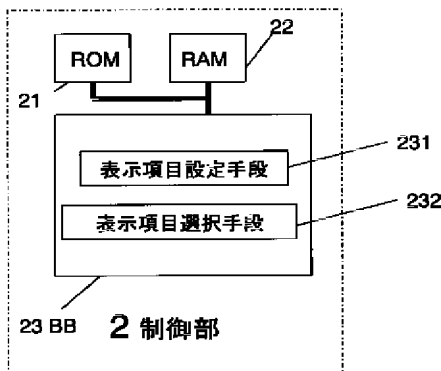


【図7】



【図2】

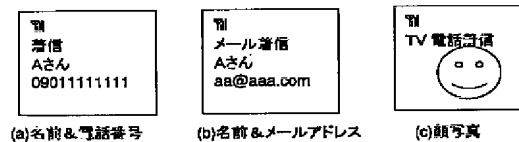
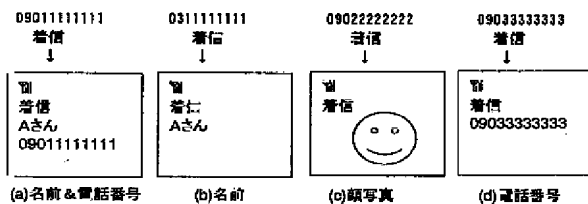
【図3】



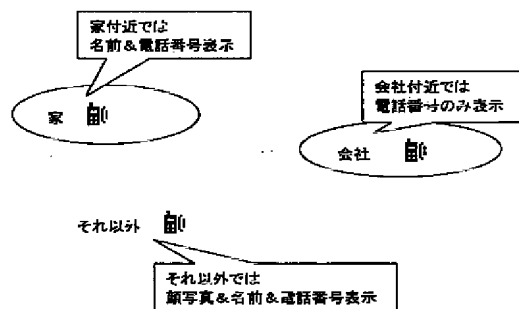
名前	顔写真	電話番号	表示する項目
Aさん		09011111111	名前&電話番号
		03111111111	名前
Bさん	☺	09022222222	顔写真
Cさん		09033333333	電話番号
Dさん	☺	09044444444	名前&電話番号&顔写真

【図5】

【図4】



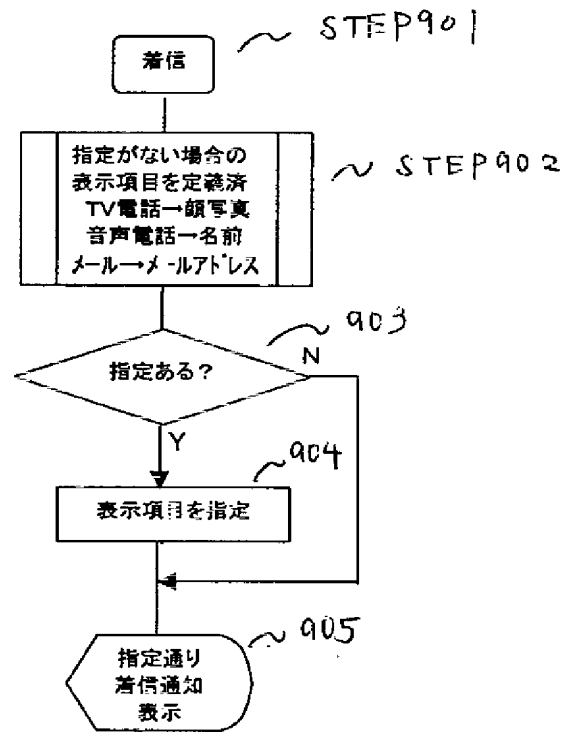
【図6】



【図8】

名前	顔写真	電話番号	メールアドレス	通信方法	日時	表示する項目
Aさん		09011111111	aa@aaa.com	TV電話		名前&電話番号
はさん	☺	09022222222	bb@bbb.co.jp	音声電話 メール	土日 平日	名前 電話番号 or メールアドレス 顔写真
Cさん		09033333333				電話番号
Dさん		09044444444	dd@ddd.ac.jp			

【図9】



フロントページの続き

Fターム(参考) 5K027 AA11 BB04 EE13 EE15 FF03
 FF22 GG08 HH23 MM17
 5K036 AA07 BB01 BB11 DD46 EE03
 EE13 JJ04 JJ13 KK07 KK09
 KK18
 5K067 AA34 BB04 EE02 FF02 FF06
 FF07 FF13 FF23 FF31 GG07
 HH22 HH23 KK15